

# 『するが有度山麓9条の会』NEWS

## 3・11が近づくと

青田恵子

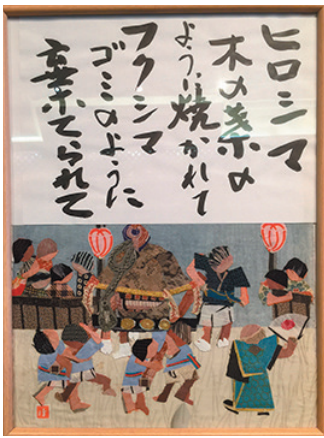
3・11 近づくと  
だんだん無口になっていく  
食事の時も喋らない  
3・11 近づくと  
米がなくなる夢を見る  
水がなくなる夢を見る  
ガソリン並ぶ夢を見る  
3・11 東北の遅い春  
縄文以来の営みが 忽然と消えた日  
村が消え町が消え 戸籍がゼロになった日  
人々は何かを追われるように逃げて行き  
何かが何なのかもわからぬまま  
死んでいった  
家畜も住処もそのままにして  
避難計画なんか  
ちゃんちゃらおかしくて  
合格しても安全とは言わぬ  
規制委員会なんか  
ちゃんちゃらおかしいが  
再稼働のたびに心が冷える  
姑息な20ミリシーベルトで帰還させる  
一度死んだ町に  
亡霊のような人影と点滅信号  
新築した移住者の家に  
「原発賠償御殿！ 仲良くしない」  
こんな落書き 同じ福島県民どうし  
「花は咲く」なんて嘘だ  
花なんか咲かないのに  
思わせぶりの歌など歌わないで  
あんな歌 歌わせないで  
本当は聴きたくないのに  
3・11 近づくと  
心が だんだん尖っていく  
錐のように尖っていく

## 青田恵子 詩・布絵展 みなさんの感想

2022/12/24〜26 池田公民館

◎ふるさとを強く思い、大切に想い、でも帰ることができない悲しみ、辛さ、心の叫びが伝わってきました。絵に添えられている文を読むたびに「本当にそうです」とつぶやき布絵に引きこまれました。ライゾウを連れていけなかった気持ち、本当に辛くなりますね。想像しました。原発はいらない。福島を忘れない!! ◎布絵と添えられていた言葉に込められている思いがよく伝わりました。お話しもすぐ伝わりやすく、わかりやすかったです。故郷を大切に思う事に考えさせられました。私も自分の故郷を大事にする気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思えます。娘たちや未来の孫たちのためにも良い未来が取りもどせていけるように願います。積極的に活動することは苦手な私ですが、自分にできることから始めたいと思います。(女・40代)

◎福島の大ばくはつで犬と分かれるのはつらかったと思います。私も犬をかつていたので、もし愛犬をおいていくことになったらとてもかなしいです。福島の大ばくはつでくるしんだりした人たちをかんがえると、とてもかなしいです。今ウ



クライナとロシアがせんそうをしているので、はやくおさまってせんそうのないくらしがおとずれるのをねがっています。(女・9才)

◎布絵の美しさに感動し、詩に心がふるえました。世の中に流されず、自分で知り、考える大切さを改めて思いました。明日からできることをしていきたいです。ありがとうございます。(女・50代)

◎年月がすぎると忘れていってしまうことが怖いと感じました。特に原発は、災害による被害を大きく受け、又それが非常に長く続きます。廃炉までの期間を延長するということは、そういうことから目を背けて、目前の経済のことばかりを考えているように思えます。もっと長期な視点で、日本のことからこのことを考える必要があると思えます。(男・40代)

◎つらいです。心が痛いです。でも布絵の風景や子どもたちの姿がともいきいき描かれていて、また、自分の子ども時代も時代の風景とも似ていてどこか懐かしさを感じる絵にいやされたような気がします。どうか平和がおとずれますように。世の中が悪く

ならないように私も祈ります。(女・60代)  
◎なかなか被爆者のことについて知る機会がなく、非常に勉強になりました。僕は幸い今までこのような被害に見舞われることなく過ごしてきましたが、平穏な日常がいかに素晴らしいか痛感するとともに、被爆者の皆さんなど、不条理な思いをされている方々に寄り添える人でありたいと思えます。頑張ってください。(男・10代)

◎Facebook友より紹介があり、お邪魔させていただきました。私は20代の頃、7年ほど伊達町に住み、県内の農家の所に指導員としてお世話になりました。南相馬市の教会に宿泊しながら、足場ボランティアやら小高にある南相馬ボランティアセンターにてボラ活動もさせていた思い出あり、身近な問題として考えております。静岡にも浜岡原発があり、廃炉に向けて活動しています。青田様もお体大切にお過ごしください。ありがとうございます。(男・70代)

◎原発が爆発してから10年以上経つのに何も変わっていないのがもどかしい。国は、建屋を30年→40年→60年と引き延ばして本当にいいのか。青田さん努力、苦しみも布絵の中に、静かだが強く私の心にうったえてきた。友人に教えていただき見に来て良かったです。ありがとうございます。(女・70代)

◎原発事故のことは今でも鮮やかに思い出されます。心の傷を布で表現する見事な絵に驚きと感銘を受けました。子供の頃、私も体験したような日常を布で、スゴイとか言いようがありません。原発に対する思い、多くの人にずっと伝え続け、忘れられないことを願うばかりです。